

第3章 ヒアリング調査の結果

第3章 ヒアリング調査の結果

第1節 ヒアリング調査の概要

1-1 ヒアリング対象者の属性

アンケート調査の補間と活躍事例として平成13年12月から平成15年1月まで、修了生50名に対しヒアリング調査を行なった。

属性は、下記に記すとおりである。

修了訓練系別

機械システム系	20名（うち女性1名）
電気電子システム系	8名
情報システム系	7名（うち女性1名）
居住システム系	11名（うち女性2名）
デザインシステム系	2名（うち女性1名）
その他系	2名（うち女性1名）

年齢別

25歳未満	10名（うち女性3名）
25歳～30歳未満	17名（うち女性2名）
30歳～35歳未満	11名（うち女性1名）
35歳～40歳未満	8名
40歳以上	4名

1-2 活躍事例の概要

(1) 機械システム系

業種については、製造業が18名、サービス業が2名であり、職務については、設計、加工、メンテナンス、検査、情報システム、営業技術などである。

(2) 電気電子システム系

業種については、製造業が8名であり、職務については、設計、生産管理、品質管理、システムエンジニアなどである。

(3) 情報システム系

業種については、製造業が1名、サービス業が6名であり、職務については、ソフトウェア開発、システムエンジニア、生産技術、教育・研究などである。

(4) 居住システム系

業種については、建設業が7名、不動産業が1名であり、職務については、設計、

施工管理、営業、設備施工などである。

(5) デザインシステム系

業種については、サービス業が2名である、職務については、設計、デザイナーである。

(6) 化学システム系

業種については、製造業が1名、サービス業が1名であり、職務については、分析、保守管理である。

いずれも関連職務であり、職業キャリアについては、特定職務をずっと続けながら専門領域を深め、周辺技術を養いながらスキルアップするパターンや複数の職務を経験しながら、専門領域を広げスキルアップするパターンなどある。また、経験を積み重ねることにより管理的業務、指導的業務を含むようになる。

また、それぞれの職務で責任が生じるということ、仕事の厳しさ、楽しさ、喜びを実感し、個々の職業キャリアの形成がなされている。

なお、ヒアリング調査を行なった修了生の活躍事例を巻末の資料として掲載している。